

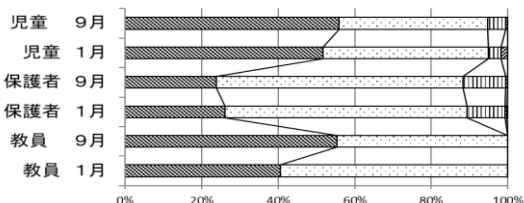
第2回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。このアンケートをもとに、これまでの教育活動を振り返り、改善すべき点を次の取組へとつなげていきたいと考えています。

まずは、全体の回答の様子をグラフでご覧ください。グラフについては、全て棒の左から◎(よくできている), ○(大体できている), △(あまりできていない), ×(できていない)の評価で表しています。

確かな学力の育成について

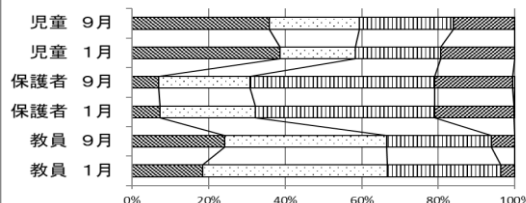
話の聞き方

◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



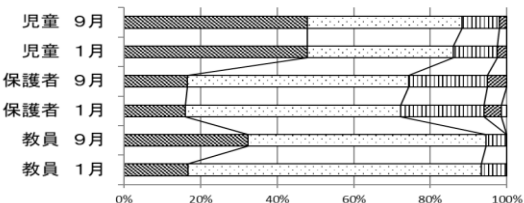
読書習慣

◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



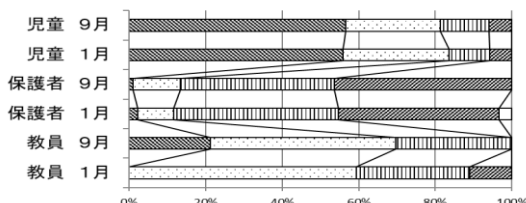
学習への意欲

◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



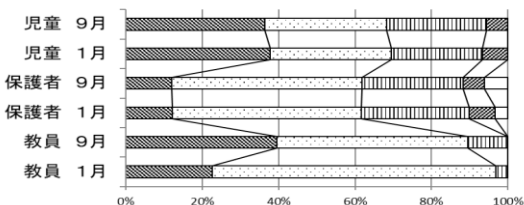
家庭学習の習慣

◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



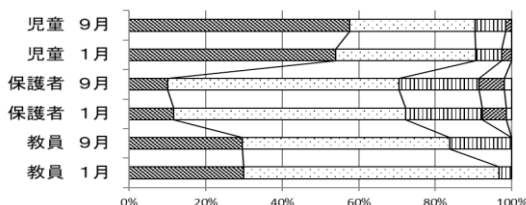
思いや考えの発表

◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



学習理解

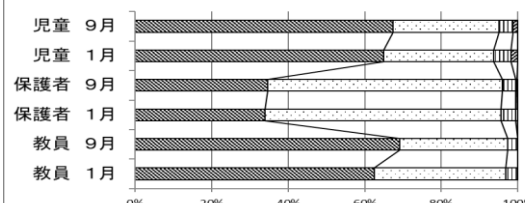
◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



豊かな心の育成について

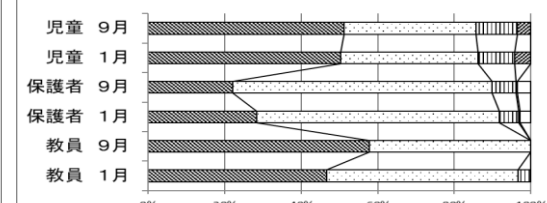
友達との関係(大切にしている)

◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



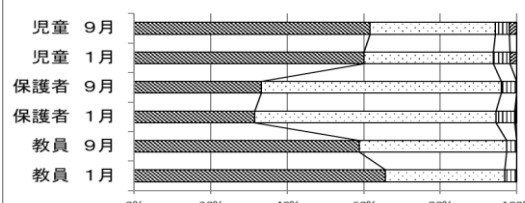
先生や友達との関係(大切にされている)

◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



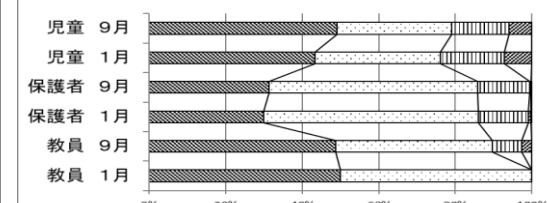
きまりや約束

◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



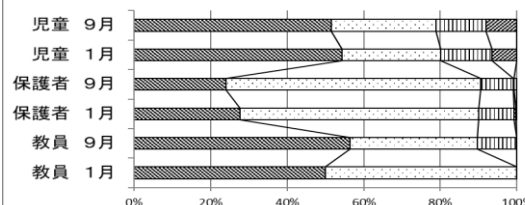
あいさつ

◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



話しやすい雰囲気

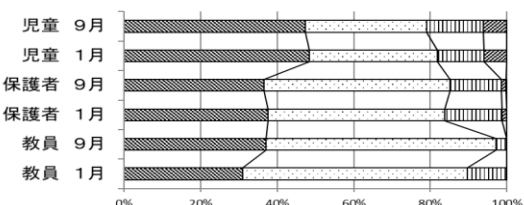
◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



健やかな体の育成について

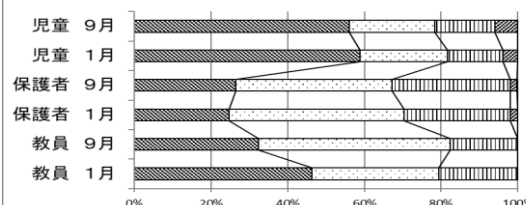
基本的な生活習慣

◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



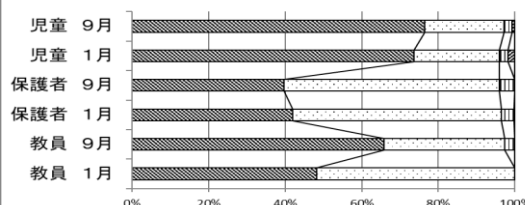
運動や外遊び

◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



安全な遊び方・登下校

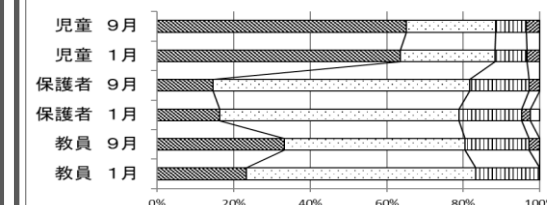
◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



児童の様子の発信について

子どもたちの様子の発信

◎ ◎ ○ ○ △ △ × × □ わからない



【学校教育目標】

自ら学び 健康で 心豊かな子の育成

【目指す子ども像】

- か かがやく子 (心身共に健康で、明るく意欲的に活動する子)
 み みんなで力を合わせる子 (同じ目標に向かって努力し、協力する子)
 か 感謝と思いやりの心をもつ子 (人や自然、ものへの感謝と思いやりの心をもつ子)
 わ わかった、できたを目指す子 (めあてをもって、粘り強く学習する子)

【目指す学校像】◎喜んで登校 満足して下校

- ◇わかる喜び、学ぶ楽しさを実感できる学校
 ◇自分が認められ、安心して生活できる学校
 ◇信頼できる、大好きな教職員や友だちがいる学校
 ◇家庭・地域と連携し、共汗する活動を進める学校



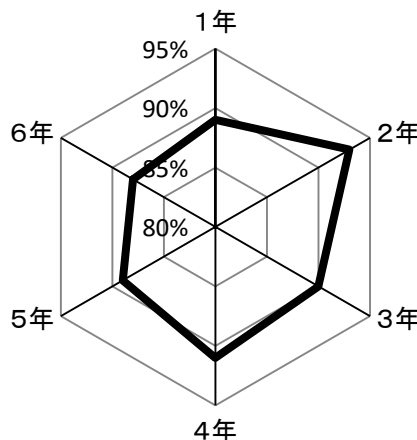
【考察】

表面では、全体の回答の様子をグラフでご覧いただきました。裏面では回答の集計の結果から考察を加えた項目(よくできている・大体できているを合わせた割合)や保護者の皆様からいただいたご意見をお伝えいたします。

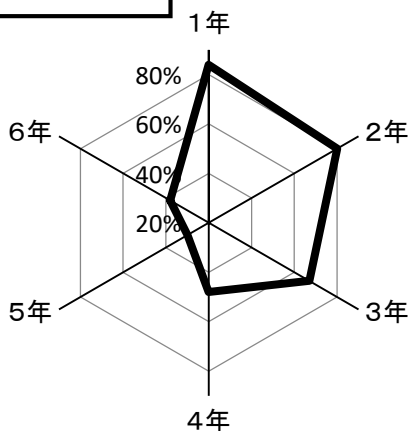
学習理解

「学校の勉強はよく分かりますか。」という質問に対して、よく分かる・だいたい分かれると肯定的に答えた児童がどの学年も90%近くいました。

神川小学校では、研究主題を「自ら学び、共に高め合う子」と設定し、その主題にせまるための方策の一つとして、教員の授業改善を掲げています。教職員一同、さらに工夫を重ね、どの子にとっても分かりやすく、楽しい授業づくりに努めていきます。

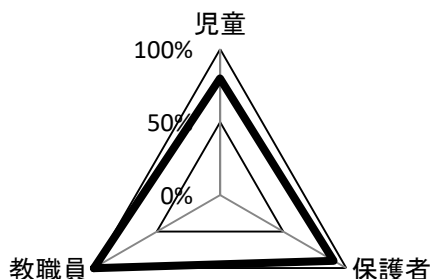


読書習慣



「進んで読書をしていますか。」という質問に対して、よくできている・だいたいできていると答えた児童の割合は、学校全体では、58%でした。読書週間の取組では、教師のおすすめの本を紹介したり、様々な分野の本に親しむようにビンゴカードを作ったり、色々な取組を行うことができました。ただ、左のグラフで示したように学年が上がるにつれてよくできている・だいたいできていると答えた児童の割合が少なくなっています。高学年になっても本に親しむ機会を設けたりするなどを引き続き工夫していきたいと考えています。

話しやすい雰囲気



【児童】

「困ったことは、先生や家族に相談していますか」

【保護者】

「ご家庭で、お子さんが話しやすい雰囲気をつくうようにしておられますか。」

【教職員】

「子どもたちと会話する機会を積極的に設け、子どもたちが話しやすい雰囲気をつくるようにしていますか。」

京都市では、「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」ことを基本理念として掲げています。児童との関わりにおいて、個々の実情や背景、発達段階を十分に踏まえた支援や指導を行うことを大切にしています。

「よくできている」「だいたいできている」と肯定的に回答している割合が児童80%、保護者90%となりました。多くの児童が「自分は大切にされている。」「学校で何かあったら先生が話を聞いてくれる。」といった思いをもってくれていることが分かります。これからも安心した学校生活が送れるよう、学校全体で努めていきます。

保護者アンケート(ご意見・ご感想の記入欄)より

- 新型コロナウイルス感染拡大防止によって学校・学年行事が少なくなってしまう残念だ。今年度は、行事や体験活動の中止や縮小などが続き、児童・保護者・教職員には、とても残念でしたが、趣旨をご理解いただきありがとうございます。来年度も様々なシミュレーションをした上で、できる範囲内で可能なことを実施していこうと考えております。
- 学校の荷物が重たく、子どもの体にかかる負担が大きい。年度当初に再度確認をし、持ち帰る物と学校に置いておく物を明確にしています。
- 宿題の量が多いように思う。毎日の家庭学習では、基礎的な力(例 漢字の読み書き・四則計算など)を付けることと、学習の習慣形成を目的としています。習い事や体調がすぐれない時など個別の事情で宿題ができない日もあるかもしれません。そうした時は、担任までご相談いただければと思います。

学校運営協議会でいただいたご意見

○下校の時間帯は、北門を多くの子どもたちが通過するため、危ないことがある。安全確認ができていなかったり、走って帰ったりするなどヒヤッとする場面を目にする。下校時には見守りの大人も少ない。地域・PTA・学校がより一層協力して、子どもたちの安全を守っていけるようにしていきたい。

アンケート結果やいただいたご意見をもとに、現在の取組を見直し改善できることは改善し、子ども達のさらなる成長に向け、保護者・地域の方から一層信頼を得られるよう努めてまいります。